

水田畦畔除草剤一覧

1 農薬登録状況の確認
登録内容は2025年 7 月 1 日現在
農薬の登録内容については、下記のホームページ等で最新の情報を確認する。
農林水産省 農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>

2. 水田畦畔（除草剤）

2025年7月1日現在

除草剤名 (登載年)	成分 (%)	作用特性 [化合物の種類]
プリグロックスL マイゼット (1988)	ジクワットジブロミド 7.0 パラコートジクロリド 5.0	[ジピリジル系] ・非ホルモン型接触性 一部移行性あり ・土壌中では短時間で不活性化 ・魚毒性A
バスタ液剤 (1988)	グルホシネート 18.5	[酸アミド系] ・非ホルモン型吸収移行性 ・非選択性 ・遅効性
ザクサ液剤 (2014)	グルホシネートPナトリウム塩 11.5	・茎葉部より吸収 ・残効性中 ・魚毒性A
草枯らしMIC (2001)	グリホサートイソプロピルアミン塩 41.0	[酸アミド系] ・非ホルモン型吸収移行性 ・非選択性 ・遅効性 ・茎葉部より吸収移行 ・残効性長 ・植物体内の移行性大 ・魚毒性A
タッチダウン i Q (2007)	グリホサートカリウム塩 44.7	同 上
ラウンドアップマックスロード (2009)	グリホサートカリウム塩 48.0	同 上
ラウンドアップマックスロード 少量散布 (2020)	グリホサートカリウム塩 48.0	同 上 ※10a当たり 5L/25L 散布 専用ノズルを使用すること
サンダーボルト 0 0 7 (2008)	グリホサートイソプロピルアミン塩 30.0 ピラフルフェンエチル 0.16	同 上
ダイロンゾル (2020)	DCMU 50.0	[尿素系] ・光合成阻害

3. 水田畦畔（抑草剤）

2025年7月1日現在

除草剤名 (登載年)	成分 (%)	作用特性 [化合物の種類]
グラスショット液剤 (2000)	ビスピリバックナトリウム塩 3.0	[ピリミジンカルボン酸系] ・抑草剤 ・茎葉部より吸収移行 ・魚毒性A